

▼ハプトグロビン静注2000単位「ベネシス」[注]

【重要度】 【一般製剤名】人ハプトグロビン human haptoglobin 【分類】血漿分画製剤

【単位】▼2000単位瓶(1瓶100mL)【特生物】

【常用量】1回4000単位

【用法】緩徐に静脈内に点滴静注するか、体外循環時に使用する場合は灌流液中に投与

【透析患者への投与方法】減量の必要なし(5)

【保存期CKD患者への投与方法】減量の必要なし(5)

【特徴】溶血などにより血中に遊離のヘモグロビン(Hb)が大量に放出され、過剰のHbが尿中に排出することにより、尿細管に障害を引き起こす。ハプトグロビン(Hp)を投与すると、Hpは血漿中のHbと特異的に結合してHp-Hb複合体を形成することにより、遊離Hbを尿中から排せすることなく正常な代謝経路である肝臓で処理することで腎障害を防止する

【主な副作用・毒性】ショック、アナフィラキシー、発疹、蕁麻疹、嘔吐など

【半減期】20hr、複合体として4.4hr[ラット](1)

【透析性】分子量が大きいため、透析では除去されない(5)

【更新日】20141222

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。